



理事長

加藤 幸博

ごあいさつ

皆様には、日ごろより〈ろうきん〉をご愛顧いただきまして厚くお礼申し上げます。
今年度も、〈ろうきん〉をより一層ご理解いただくために、ディスクロージャー誌「静岡ろうきんの現況2012」を作成いたしました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫の事業の状況についてご理解を賜れば幸いに存じます。

さて、2011年度は、東日本大震災から官民あげての復旧・復興がすすめられましたが、歴史的な円高や欧州債務問題の深刻化などから国内景気は総じて停滞感が強く、勤労者を取り巻く雇用・所得環境も厳しい状況が続くなか、当金庫では、会員の皆様方の期待に一層応えるべく、「静岡ろうきんの姿をより確かなものとするための第一歩」と位置づけた2011年度事業計画「改革ステップアップ^{イレブン}11」をすすめてまいりました。

住宅ローン獲得に向けた低金利競争に拍車がかかるなど、当金庫にとっても厳しい事業環境下ではありましたが、おかげさまで、預金・融資ともに順調に伸張させることができ、会員の皆様とともにすすめる運動と事業の着実な前進をはかることができました。ここに改めてお礼申し上げます。

2012年度に入ってから国内景気は、円高や欧州危機、そして電力供給の制約等により企業の生産活動への影響が懸念されるなど先行きが不透明であり、勤労者の生活などへの影響も心配されるところであります。このような状況下、当金庫は2012年度より3ヵ年の中期計画「飛躍」をスタートさせ、勤労者の皆様へさらなる安心を提供していくための取組みをすすめています。また、2013年3月1日には創立60年の節目を迎えるため、『ありがとうを飛躍の力に、ともに明日へ。』をコンセプトとする記念事業の展開を予定しており、これまでの歩みを振り返るとともに、築きあげてきた会員・勤労者の皆様との「つながり」をかけがえのない財産として、新たな飛躍に向けて取り組んでまいる所存でございます。

これからも「安心」「安全」「健全」な金融機関として、また、常に勤労者にとって一番身近なくらし応援バンク〈ろうきん〉であり続けるために、役職員が一丸となり向上心をもって、一層の役割発揮に努めてまいります。変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

2012年7月

金額・比率の表示方法のご案内

1. 金額単位

- ①各表に表示した金額単位未満の端数を切り捨てて記載しています(ただし、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条の規定に基づく『資産の査定公表』」については、金額単位未満を四捨五入しています。)
- ②小計、合計等の合算は、円単位まで算出し、金額単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- ③期中増減額(比率)、諸利回、諸比率等の算出にあたっては、各表上の単位未満を切り捨てた計数を使用しています。なお、官庁報告に係る諸比率等については、報告計数をそのまま表示しています。
- ④金額・比率とも該当数字がない場合は、「-」、また該当数字があつて表示単位に満たない場合は、「0」で表示しています。

2. 諸利回・諸比率

小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています(ただし、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条の規定に基づく『資産の査定公表』」に係るものについては、小数点第3位を四捨五入し、第2位までを表示しています。)

本誌は、労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条(業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等)ならびに金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条(資産の査定公表)に基づいて作成したディスクロージャー資料です。